

※指導案の各項目の書き方は、e-Support（目指す資質能力を育成する授業の質的な向上）を参考にすること。

指導案の様式は各校の体裁を利用してもよい。

## 第〇学年（生活単元学習・遊び） 指導案（特別支援用）

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

（〇〇：〇〇～〇〇：〇〇）

指導者 新潟市立〇〇〇学校

MT 教諭 〇〇 〇〇

ST1 教諭 〇〇 〇〇

ST2 教諭 〇〇 〇〇

### 1 単元（題材）名 「ねこと一緒に遊ぼう」

活動がイメージしやすい表現を工夫する  
例：〇〇さんをお祭りに招待しよう（行事）  
〇〇作り名人になろう（会食・調理）

### 2 単元（題材）の目標

「11ぴきのねこ」（物語）ごっこを通して、友達や先生と言葉や身体表現で関わりながら、さかなつりなどの活動を楽しむことができる。

### 3 単元（題材）の評価規準 ※抽出児童（生徒）について、若手5年目は1人・中堅研修は2人記述する。

	児童（生徒）の実態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがもてない活動は拒否することが多い。</li> <li>・友達の活動を見て見通しを持つことができる。</li> <li>・楽しい気持ちを拍手やジェスチャーで表す。</li> </ul>	・	・	・

抽出児童（生徒）について、個別の評価規準を記述する。各観点の評価規準の数は1、2つ程度に精選する。文末は基本的に「～している」となる。

## 4 単元と指導の構想

### （1）児童（生徒）と単元

小学部〇年生は、知的障がい〇人、自閉症・情緒障がい〇人の計〇〇人である。それぞれの障がいや発達段階、生活環境などにより、学習面・生活面共に大きな差がある。・・・人間関係を構築する上で、の好ましい関わり方や場に合ったコミュニケーションの取り方には一人一人課題はあるが、児童は全体的に明るく素直であり、人とかかわることが好きである。

これまでの生活単元学習では、・・・に取り組み、・・・することができつつある。しかし、・・・という課題が見られる。主体的に活動することは難しいが、興味のあることであり、活動に見通しをもつことができれば、生き生きと活動に参加することができる。

生活単元学習は、生活をしていく上での課題処理や問題解決のための活動を経験することにより、自立した生活に必要なことがらを学習するものである。本単元では、・・・という活動を通して、・・・力を養うことができる。また、・・・こともできる。この活動を通して、人と関わることの楽しさを実感し、今後の生活の様々な場面で必要とされる様々な力の育むことができると考え、本単元を設定した。

(2)指導の構想

児童（生徒）の実態に即した活動が展開できるよう、次のような手立てを行う。

単元（題材）と児童（生徒）を受け、どのような手立てを講じて学習を進めていくのかを箇条書きではなく、文章で記述する。

5 単元（題材）の指導計画（全16時間 本時 11/16）

次	時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評価			
			知	思	態	評価規準
1次	1	○11びきのねこのお話を聞いて、物語の内容を理解する。 ・教師の読み聞かせを聞く。 ・教師が物語を演じているのを見る。 ・音楽に合わせて教師の支援を受けながら体を動かす。			○	・自分の考えを進んで発表することができる。
	2			○		
	3			○		
2次	4	○大きな魚の制作を通して、自分の使いたい道具や色を選ぶことができる。 ・大きな魚の下絵に、ローラーや手を使ってひれをつける。		○	○	・進んで大きな魚の制作に関わっている。
	5					
	6					
	7					
3次	8	○11びきのねこになりきって演じることを通して、友達や先生と言葉や身体表現で関わることができる。		○		・自分の役割が分かり、見通しをもって意欲的に練習活動に取り組んでいる。
	9					
	10					
	11	本時は太枠で囲む。	○			
	12					
4次	13	○				
	14					
	15					
	16					

- ・ 単元（題材）に関わる、児童（生徒）の実態（レディネス）やこの単元につながる学習履歴を記述する。
- ・ 単元（題材）設定の意義と単元（題材）のもつ価値を明確にし、授業者がどのような教材観をもっているか記述する。

6 本時の計画（11 時間目／全 16 時間）

（1）本時のねらい

（例） ○○について、▲▲することを通して、□□することができる。

（2）本時の構想と個人目標

- ねらいの達成にむけて、本時における具体的な手立てや指導の留意事項を箇条書きではなく、文章で記述する。
- 児童（生徒）の主体的な学習活動が促されるように本時において工夫する点を記述する。

「○○について」は本時の学習内容や学習課題を、「▲▲することを通して」は、目指す姿にするための学習活動や手立てを、「□□できる」は本時で目指す児童（生徒）の姿を具体的に記述する。

児童（生徒）	これまでの取組（実態）	個人目標	手立て

- 抽出児童（生徒）について前時までの達成状況を記述する。
- 抽出児童（生徒）の本時における目標と、その目標の達成にむけての具体的な手立てや指導の留意事項を記述する。

(3) 展開

学習活動	○教師の働き掛けと予想される児童（生徒）の反応 ■評価基準				○留意点
	A ■	B・F	C	D・E	
導入（10分） 1 本時の学習課題を知り、見通しをもつ。	MT：準備の活動への見通しを持たせるために、衣装をつけてお祭りの音楽に合わせて登場する。「みなさん！こんにちは。ぼく、〇〇です。今日もぼくたち11ぴきのねこと一緒に遊ぼう」				同じような評価基準の児童（生徒）や学習活動が同じ場合は、グループとして表してもよい。
児童（生徒）が主語。学習活動と内容に番号を付けて記述する。	MTが全員に働き掛ける場合このように記述する。	ST1、ST2などの記号で誰がどの児童（生徒）を支援するのかを明確にする。			
展開（20分） 2	[Redacted content]				学習課題は導入段階で記述する場合もある。
3	■ 評価規準に基づき、概ね満足できる状況を児童（生徒）の姿で <u>具体的に</u> 記述する。	本時のねらいを達成するための学習課題は太枠で囲む。			

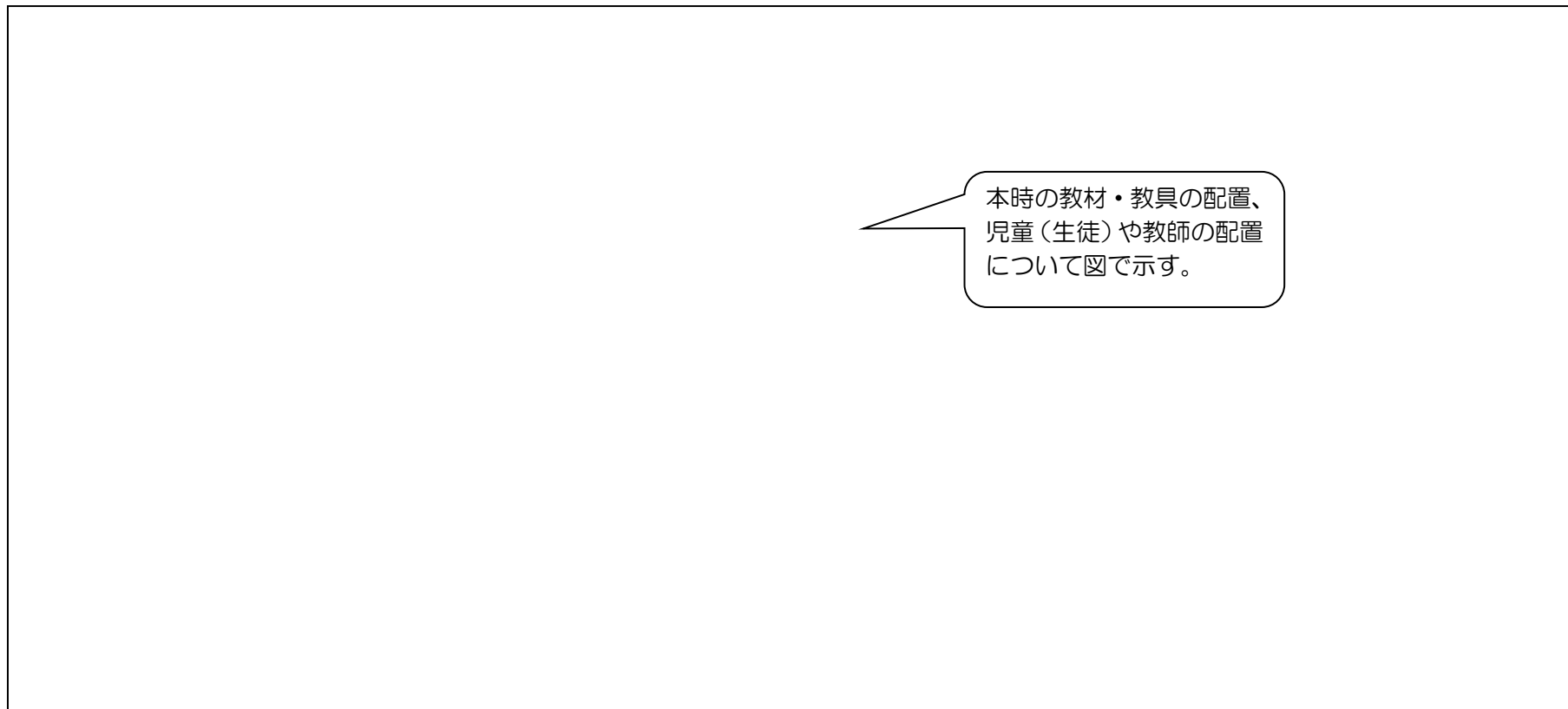
<p>終末 (10分)</p> <p>4 振り返りをし、次時のめあてを立てる。</p>					

学習のまとめを太  
枠で囲む。



(4) 本時の評価  
※展開での評価基準に代える。

(5) 環境構成図



本時の教材・教具の配置、  
児童（生徒）や教師の配置  
について図で示す。